

教師ノート

日付	2011年 9月 4日
単元	基本的な教理・2
テーマ	永遠のいのち
タイトル	救い・2 命と滅び
テキスト	ヨハネ3:16
参照箇所	マタイ7:13,10:28,16:16、ヨハネ11:25-26,20:28、使徒2:24、ローマ6:23、ピリピ1:28
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ヨハネ3:16

AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)

□導入

私たちが救われるとは、どういうことでしょうか。永遠のいのちが、どんなにスバラシイものであるか、みなさんは知っているでしょうか？

□ポイント1 私たちは永遠に滅びる者でした(第二の死について)

私たちが「滅びる」とはどういうことでしょうか？人間の肉体は必ず死にます。しかし、聖書で言う滅びはそれだけではありません。ここでいう「滅び」とは、魂の死のことです。ヨハネの黙示録には、「第二の死」と書いてあります(2:11,20:6,14,21:8)。肉体が死んだ後、魂が「第二の死」に投げ込まれると、神さまとの関係が永遠に失われます。黙示録では、この「第二の死」は、「火と硫黄との燃える池」(21:8)、「火の池」(20:14)という表現でも書かれています。

聖書では、生きているということは、神さまとつながっているということです。逆に神さまと切り離されている状態は命がない＝死んでいるということです。罪を悔改めないままでは、神さまとつながることはできません。「罪から来る報酬は死です」(ローマ6:23)とあるように、罪人である私たちは、罪の結果として、滅びてしまうはずでした。しかし、イエスさまが、その罪の結果としての死を身代わりに受けてくださったので、イエスさまを信じている人は、この第二の死から救われています(マタイ7:13、10:28、ピリピ1:28参照)。イエスさまは、人間がひとりも滅びないようにと、命を捨ててくださったのです。

☞ 神さまが私たちを地獄に落とすのでしょうか？ 神は、自己中心に生きようとする人間を、無理やりに神とのつながりに引き戻すことはされません。愛の神が、人間を地獄に投げ込むものではありません。神に従うよりも、自分勝手にいきたいという人間の選択です。その結果、神とのつながりを永遠に絶たれるのです。神は、私たちのうち、ひとりでも、この「滅び」に入ることを望んでおられません(マタイ18:14)。

☞ 例話: 人間が神さまを知らずに生きることは、まるでアリが、アリ地獄に向かって進んでいるようなものです。アリは、その先にアリ地獄があることを知らずに、行列をつくって進んでいます。人間がアリに向かって「そっちは地獄だよ」と言ってもアリには通じません。だれかがアリに変身して、アリのことばでつたえるしかありません。しかし、アリを救うために、アリの身分にまで下がりたいと思う人間なんてどこにもいません。しかし、神さまは私たちに「そっちは地獄だよ」と伝えるために、人間の姿(イエスさま)になって地上に来てくださったのです。神さまは、人間の身分にまで下がってでも、私たちが滅びから救ってくださったのです。しかも命まで捨ててくださったほどに、私たちが愛してくださったのです。

□ポイント2 神さまは、御子イエスさまを与えてくださいました(キリストの神性について)

私たちの罪が赦されるためには、いけにえが必要でした。出エジプトの時、イスラエルの民の命が救われるために、傷のない羊の命の犠牲とその血が必要だったように、全人類のすべての罪が完全に赦されるためには、完全ないけにえが必要でした。それは、罪のない神の子イエスさまの命です(こひつじホームページ2011年5月11日「過越しの小羊」参照)。全人類の全ての罪を赦すことができるいけにえは、神の御子イエスさまの命しかありません。天のお父さまは、そのご自身にとって最も大切なひとり子の命を、罪人を買戻す代価として払ってくださったのです。それほどまでに、神さまは罪人である私たちを愛してくださっているのです。

☞ イエスさまは、生ける神の御子キリストです(マタイ16:16)。イエスさまは、神さまです(ヨハネ福音書20:28)。だからこそ、完全ないけにえとなって、私たちを救うことができたのです。次の数々の聖句が、正真正銘イエスさまが神さまであることを証明しています。

- ① イエスさまは聖霊の力によって生まれました(マタイ1:23、ルカ1:31,35)
- ② イエスさまは罪のないお方です(ヘブル7:26、Iペテロ2:22)
- ③ イエスさまは奇跡をおこなわれました(使徒2:22、10:38)
- ④ イエスさまは私たちの身代わりとなって十字架で死んで下さいました(Iコリント15:3、IIコリント5:21)
- ⑤ イエスさまは死からよみがえられました(マタイ28:6、ルカ24:39、Iコリント15:4)
- ⑥ イエスさまは天のお父さまの右の座に昇られました(使徒1:9,11,2:33、ピリピ2:9-11、ヘブル1:3)

□ポイント3 神さまは、私たちに永遠のいのちを与えてくださいました(永遠のいのちについて)

イエスさまは、十字架で死んでくださり、そして、3日目によみがえられました。死に打ち勝ったのです。イエスさまは、死の支配下にはおられません(使徒2:24)。ですから、イエスさまは私たちに永遠の命を与えることができますのです。イエスさまは「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。このことを信じますか」と言われました(ヨハネ11:25-26)。イエスさまを信じる人には、「永遠の命」が与えられます。

永遠の命をもつ人は、永遠に神さまとの交わりの中にあることができます。「見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである」(黙示録21:3-4)とあります。肉体が死んだ後も、私たちは天国で神さまとともに永遠に生きることができるのです。

□結論 神さまは、御子キリストによって、私たちに永遠の命を与えてくださいました

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

例1: 今日のお話をきいて、永遠のいのちがどんなに大切かわかりましたか? あなたは、永遠のいのちをゲットしたいですか? イエスさまは、今あなたが信じるなら、それをくださいます。天国に行くチケットを手に入れましょう。

例2: 私たちは永遠の命をいただいています。それがどんなに素晴らしいことかわかりましたか? 永遠のいのちを感謝しましょう。私たちを滅びから救うために、神のひとり子イエスさまが犠牲になってくださったのです。おかげで私たちは、神さまとの永遠の交わりに入れられたのです。日本ではまだ1億人以上の人が、イエスさまを信じていません。滅びに至る門は大きく、多くの人がそちらに向かっています(マタイ7:13)。それがどんなに悲しいことか、わかりましたか? あなたには何ができるでしょうか? だれにイエスさまを伝えることができるでしょうか? 救いのために祈りましょう。そして、できることを今すぐ始めましょう!